

自治会の担い手不足解消にむけて

「**次期**自治会長は決まっていますか？」

～ めざすは、住民**総活躍**自治会 ～

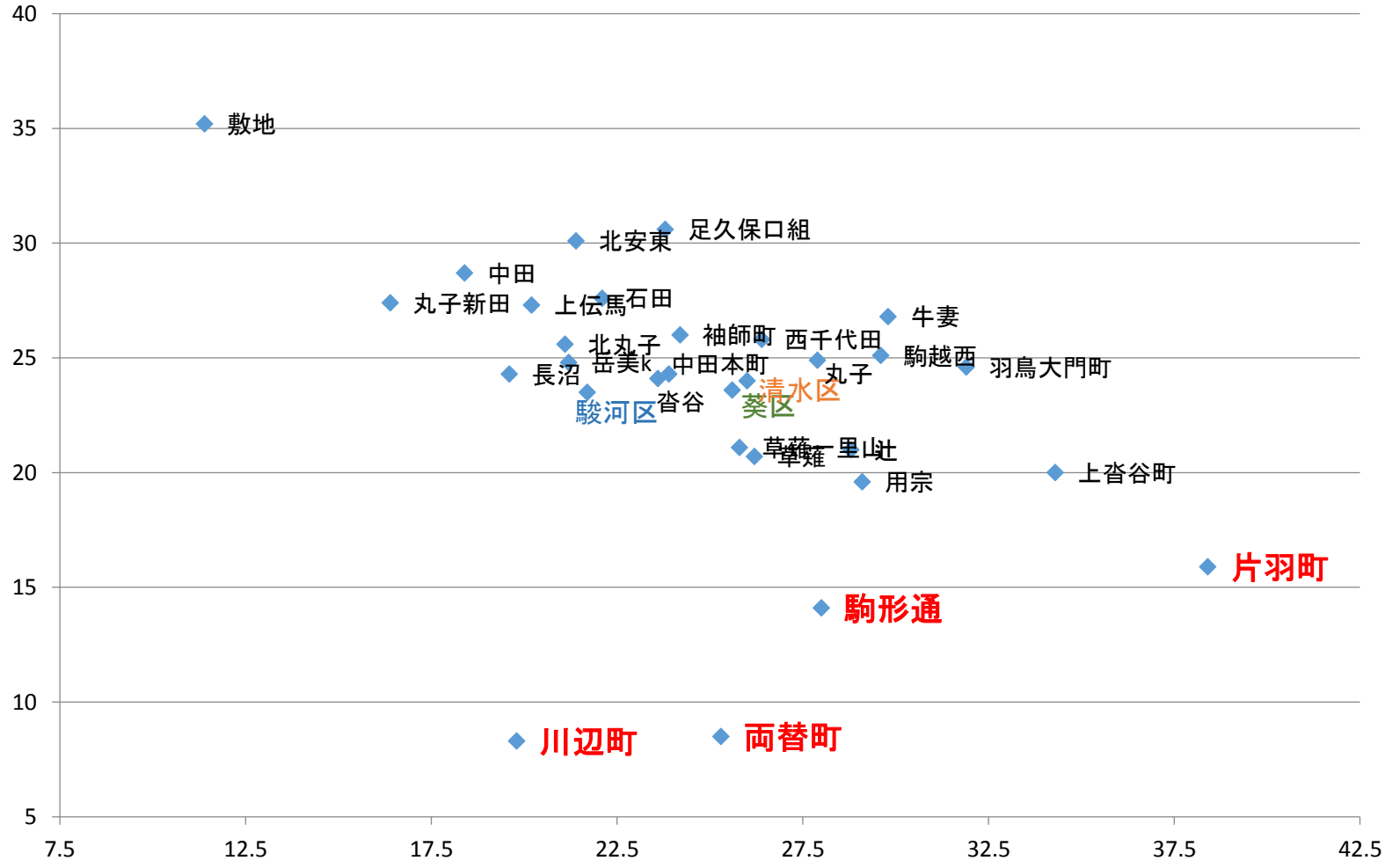


少子高齢化パイオニア地域

2010年国勢調査より

18歳未満同居率

少子↓



高齡化率

高齡→□

1. 片羽町の「見守り・お助けネット網」

- 目的: ・町内の住民同士の**支え合いの仕組み**
- ・**相談を専門機関**(警察、地域包括支援センター、など)**へつなぐ仕組み**

各組単位の住民

見守り人・お助け人
支援者に2人以上

日常の見守り、
ちょっとした困りごと
の相談
災害時の支援

要請のあった、
主に一人暮らし
の高齢者と障害
者




平成26年度開始の取り組み

2. 西奈南地区の活動 (サポート隊と自治会館の活用)

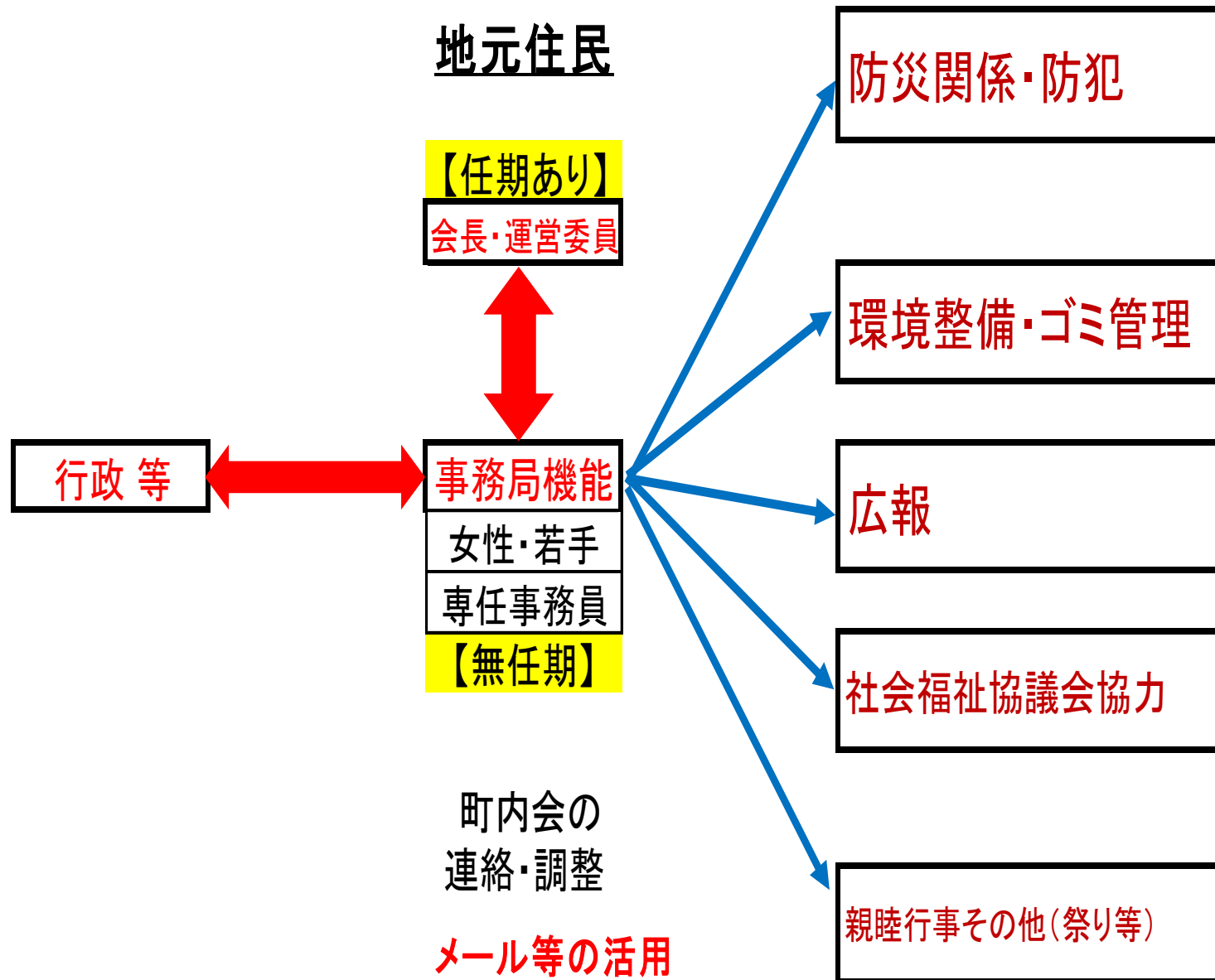
現在20名のサポート隊員で運営しています！

- 夏祭りテント張り、模擬店のサポート
- 総合防災訓練のサポート
- 地区運動会のサポート
- 一斉清掃のサポート
- 子供会行事の田植え→稲刈りのサポート
- 子供会行事のワクワクパラダイスの中の“もちつき”のサポート

担い手をふやすには

課題	事象		解決法
仕事が多すぎる	現役世代はできない		内容の見直し 棚卸し 手順書
会長が一人で引き受ける	活動が広がらない		組織化し担い手を育てる 事務局機能
自治会館がない	課題解決の話し合い		活動場所の確保

「事務局機能のある自治会」の組織イメージ図



提案 自治会活動の場所は必須

・利用目的

1. 地域の課題を確認し合い、

解決への**行動に向かう拠点**

2. 事務局機能の設置場所

3. 代表者報告会・意見交換会他

多くの人が集まることで、コミュニケーションを持つことができる

・考えられる施設

空き教室・空き家屋・空き店舗

地域の居場所(くれば等)

実現に向けて、まずは・・・やってみる！

自治会長の仕事内容の確認

- **棚卸し**(事務局運営の資金確保の視点で、要不要を見定める)
- **分担**体制づくり

運用手順書の作成

- 自治会の**仕事のマニュアル化**で、取り組みやすくする

協働事業としての取り組み

- 行政と市民との協働事業として、研究を開始する
- 試行を要望する地域や町内を募集しモデル事業として取り組む